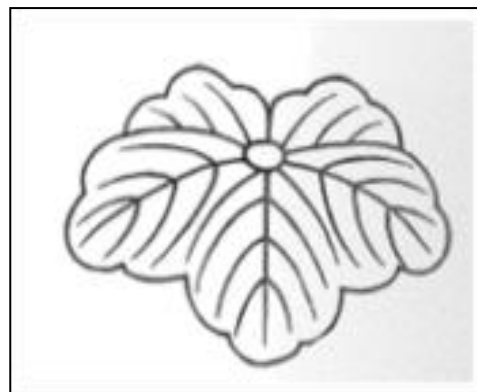


○北茂安中学校の歴史 パート 9

ふるさと佐賀、ふるさと北茂安に対し愛着と誇りをもってもらいたいという願いから、歴代校長先生とその当時の職員、当時の学校の様子について紹介しています。今回は9回目ということで、第9代校長今井正三先生とその当時の様子について紹介します。

第9代校長 今井正三先生は昭和45年度から48年度までの4年間本校在職でした。この期間の主な出来事は、大阪万博(S45)開催や沖縄県発足(S47)等がありました。学校関係では、校旗入魂式(S46.1)や希望坂命名(S47)がありました。校旗は現在も大切に使われています。校章は、成富家の家紋を原型にデザインされています。また、希望坂は昭和47年度(第26回生)が命名し、記念の石碑が建立(S48.3)されました。



【成富家 家紋】

第9代校長 今井正三先生 S45~48年	
	第26回卒業生 (S47年度) 
出来事 大阪万博 S45 校旗入魂式 S46.1 希望坂命名 S47 ミュンヘン五輪 S47	

	
「希望坂」命名 「これからの未来を背負っていく、私たち北茂安中学校の生徒は、将来の「夢」の実現に向け大きな希望をもって中学生活を送ろう。」という気持ちを込めて、北中の生徒によってこの坂に名前がつけられました。 昭和48年3月	